

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 修士課程

1. 修士（薬科学）の学位を得ようとする者は、修士課程に2年以上在学して研究指導を受け、必修科目16単位、選択科目14単位、計30単位以上（別表1）を学修し、かつ修士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。
2. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
3. 講義はすべて選択で、学生は希望する講義を受講することができる。ただし、概論2科目4単位、実験技術1科目2単位、研究特論4科目8単位以上を履修しなければならない。  
なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、3科目6単位以内は修士課程修了に必要な研究特論の単位数のなかに含めて認定することができる。
4. 基礎演習及び実験、実習は研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
5. 基礎演習は通年2単位、実験は通年4単位及び実習は通年1単位とする。
6. 特別演習は、必修とし、半期各年1単位、計2単位を修得しなければならない。
7. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科修士課程修得単位数表

科 目		必修科目	選択科目	計
講義	導入教育	概論 (専攻横断型科目及び 自専攻科目)	4	14
		実験技術	2	
	研究特論		8	
基礎演習		4		4
実験		8		8
実習		2		2
特別演習		2		2
計		16	14	30

## 2023年度 薬学研究科修士課程科目配当表

(薬科学専攻)

区分	ナンバリング コード	科目名	単 位	開講年度				備考
				2023年度		(2024年度)		
				前	後	前	後	
講義	導入教育	概論 専攻横断型科目	GPHA0051026LJ86	創薬有機化学概論	2	集中	集中	2科目履修
			GPHA0051028LJ86	創薬医療薬科学概論	2	集中	集中	
			GPHA0051027LJ86	創薬生命科学概論	2	集中	集中	
	実験技術	自専攻科目	GPHA0151217LJ86	創薬物理化学概論	2	集中	集中	1科目履修
			GPHA0151205LJ86	基盤有機化学実験技術	2	集中	集中	
			GPHA0151206LJ86	基盤物理化学実験技術	2	集中	集中	
			GPHA0151207LJ86	基盤生物化学実験技術	2	集中	集中	
			GPHA0151208LJ86	基盤医療薬科学実験技術	2	集中	集中	
			GPHA0161209LJ86	基盤有機化学特論Ⅰ	2		2	
	GPHA0161210LJ86	基盤有機化学特論Ⅱ	2		2			
	GPHA0161211LJ86	基盤物理化学特論Ⅰ	2		2			
	GPHA0161212LJ86	基盤物理化学特論Ⅱ	2	2				
	GPHA0161213LJ86	基盤生物化学特論Ⅰ	2		2			
	GPHA0161214LJ86	基盤生物化学特論Ⅱ	2		2			
GPHA0161215LJ86	基盤医療薬科学特論Ⅰ	2		2				
GPHA0161216LJ86	基盤医療薬科学特論Ⅱ	2		(注1)				
演習	基礎演習	GPHA0172301SJ86	基盤薬品創製化学演習	2	2	2	研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする	
		GPHA0172302SJ86	基盤薬品機能統御学演習	2	2	2		
		GPHA0172303SJ86	基盤薬品製剤設計学演習	2	2	2		
		GPHA0172304SJ86	基盤生体分子薬学演習	2	2	2		
		GPHA0172305SJ86	基盤生体機能薬学演習	2	2	2		
		GPHA0172306SJ86	基盤生体情報薬学演習	2	2	2		
		GPHA0172307SJ86	基盤薬品動態医療薬学演習	2	2	2		
		GPHA0172308SJ86	基盤病態機能解析学演習	2	2	2		
		GPHA0172309SJ86	基盤精密有機合成化学演習	2	2	2		
		GPHA0172310SJ86	基盤生体機能化学演習	2	2	2		
		GPHA0172311SJ86	基盤生理活性制御学演習	2	2	2		
		GPHA0172312SJ86	基盤神経機能制御学演習	2	2	2		
		GPHA0172313SJ86	基盤医療薬剤学演習	2	2	2		
		GPHA0172315SJ86	実践創薬科学演習	2	2	2		
	GPHA0172316SJ86	基盤創薬医療科学演習	2	2	2			
特別演習	GPHA0172314SJ86	基盤薬科学特別演習	1		集中	集中	必修	
実験		GPHA0173201EJ86	基盤薬品創製化学実験	4			研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする	
		GPHA0173202EJ86	基盤薬品機能統御学実験	4				
		GPHA0173203EJ86	基盤薬品製剤設計学実験	4				
		GPHA0173204EJ86	基盤生体分子薬学実験	4				
		GPHA0173205EJ86	基盤生体機能薬学実験	4				
		GPHA0173206EJ86	基盤生体情報薬学実験	4				
		GPHA0173207EJ86	基盤薬品動態医療薬学実験	4				
		GPHA0173208EJ86	基盤病態機能解析学実験	4				
		GPHA0173209EJ86	基盤精密有機合成化学実験	4				
		GPHA0173210EJ86	基盤生体機能化学実験	4				
		GPHA0173211EJ86	基盤生理活性制御学実験	4				
		GPHA0173212EJ86	基盤神経機能制御学実験	4				
		GPHA0173213EJ86	基盤医療薬剤学実験	4				
		GPHA0173214EJ86	実践創薬科学実験	4				
		GPHA0173215EJ86	基盤創薬医療科学実験	4				
実習		GPHA0174201PJ86	基盤薬品創製化学実習	1			所属する講座が開講するものを必修とする	
		GPHA0174202PJ86	基盤薬品機能統御学実習	1				
		GPHA0174203PJ86	基盤薬品製剤設計学実習	1				
		GPHA0174204PJ86	基盤生体分子薬学実習	1				
		GPHA0174205PJ86	基盤生体機能薬学実習	1				
		GPHA0174206PJ86	基盤生体情報薬学実習	1				
		GPHA0174207PJ86	基盤薬品動態医療薬学実習	1				
		GPHA0174208PJ86	基盤病態機能解析学実習	1				
		GPHA0174209PJ86	基盤精密有機合成化学実習	1				
		GPHA0174210PJ86	基盤生体機能化学実習	1				
		GPHA0174211PJ86	基盤医療薬剤学実習	1				
		GPHA0174212PJ86	実践創薬科学実習	1				
		GPHA0174213PJ86	基盤創薬医療科学実習	1				

※開講年度欄の「集中」は集中講義、数字は毎週平均の授業時数を表す

(注1) 2023年度不開講

## 【生理化学概論（大学院横断教育科目群）について】

指導教員の承認を得て、全学共通科目の生理化学概論（大学院横断教育科目群）を受講し、その単位を修得した場合には、修士課程修済に必要な研究特論の単位数のなかを含めて認定することができる

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 博士後期課程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、博士後期課程に3年以上在学して研究指導を受け、演習4単位以上及び特論2単位以上を学修し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。  
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を2年に短縮して学位を得ることができる。
2. 演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものと見なす。
3. 演習は研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
4. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

## 科目配当表（博士後期課程）

演習は通年2単位とし、特論は半期2単位とする。演習は1年毎に、特論は半期毎に独立したものとみなす。在学期間中に6単位（演習4単位、特論2単位）以上を履修する。

先端薬科学研究演習Ⅰ（通年、必修） GPHA0179011SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学研究演習Ⅱ（通年、必修） GPHA0179012SJ86 薬科学専攻教員他

先端薬科学特論（前期・後期、必修） GPHA0169013LJ86 薬科学専攻教員他

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(医薬創成情報科学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 博士後期課程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、博士後期課程に3年以上在学して研究指導を受け、講義2単位、研究8単位以上（別表3）を学修し、かつ医薬創成 IT コンテンツ（2単位）を制作したうえで、独創的研究に基づく博士論文を提出し所定の試験を受けなければならない。  
なお、学修・研究について著しい進捗が認められる者は、審査を経て、在学期間を2年に短縮して学位を得ることができる。
2. 研究および医薬創成 IT コンテンツ制作は、研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
3. 研究指導ならび IT コンテンツ制作指導は学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
4. 講義は通年2単位、研究は通年4単位、及び医薬創成 IT コンテンツ制作は原則3年間で2単位とする。研究は1年毎に独立したものとみなす。
5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表3)

### 修得単位数表（博士後期課程）

(医薬創成情報科学専攻)

科目	必修科目	計
講義	2	2
研究	8	8
医薬創成 IT コンテンツ制作	2	2
計	12	12

(別表4)

### 科目配当表（博士後期課程）

(医薬創成情報科学専攻)

区分	ナンバリングコード	科目名	単位	配当回数			備考	
				1回生	2回生	3回生		
講義	博士先端特論	GPHA0267001LJ86	医薬創成研究プロジェクト特論	2	集中	集中	集中	必修
研究	博士研究	GPHA0277004SJ86	バイオインフォマティクス系研究	8	4	4	4	情報科学系出身者必修
		GPHA0277005SJ86	システム生物学・医薬創成研究	8	4	4	4	生命科学系出身者必修
医薬創成 IT コンテンツ制作	博士 IT コンテンツ制作	GPHA0277006SJ86	バイオインフォマティクス系コンテンツ制作	2	2			情報科学系出身者必修
		GPHA0277007SJ86	システム生物学・医薬創成系コンテンツ制作	2	2			生命科学系出身者必修

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(薬学専攻)

(平成 27 年度以降入学者)

## 博 士 課 程

1. 博士（薬学）の学位を得ようとする者は、博士課程に4年以上在学して研究指導を受け、必修科目26単位、選択科目4単位、計30単位以上（別表1）を学修し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、所定の試験を受けなければならない。  
なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を3年に短縮して学位を得ることができる。
2. 研究指導は、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
3. 概論と実験技術は必修であり、各科目半期2単位とする。研究特論は選択で、学生は希望する講義を受講することができる。ただし2科目4単位以上を履修しなければならない。  
なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、2科目4単位以内は博士課程修了に必要な研究特論の単位数のなかに含めて認定することができる。
4. 基礎演習は通年2単位、実習は通年1単位とし研究指導を担当する教員が専門とするものを必修とする。
5. 実験は通年4単位とし必修とする。
6. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科博士課程修得単位数表

科 目		必修科目	選択科目	計
講義	導入教育	概論	4	10
		実験技術	2	
	研究特論		4	
基礎演習		6		6
実 験		12		12
実 習		2		2
計		26	4	30

(別表2)

## 2023年度 薬学研究科博士課程科目配当表

(薬学専攻)

区 分	ナンバリング コード	科 目 名	単 位	開 講 年 度				備 考	
				2023年度		(2024年度)			
				前	後	前	後		
講義	研究導入 講義	GPHA1056001LJ86	臨床薬学概論	2	集中		集中		必修
		GPHA1056002LJ86	薬学研究概論	2	集中		集中		
	実験技術 研究特論	GPHA1056003LJ86	薬学実験技術	2	集中		集中		2科目履修
		GPHA1066004LJ86	臨床薬学特論	2				2	
		GPHA1066008LJ86	病院薬学特論	2		2			
		GPHA1066005LJ86	薬学研究特論 I	2		2		2	
		GPHA1066006LJ86	薬学研究特論 II	2	2			2	
GPHA1066007LJ86	薬学研究特論 III	2		2		2			
演習	基礎演習	GPHA1076101SJ86	臨床薬学演習 I	2	2		2	研究指導を担当 する教員が専門 とするものを必 修とする	
		GPHA1076102SJ86	臨床薬学演習 II	2	2		2		
		GPHA1076103SJ86	臨床薬学演習 III	2	2		2		
		GPHA1076104SJ86	薬学研究演習 I	2	2		2		
		GPHA1076105SJ86	薬学研究演習 II	2	2		2		
		GPHA1076106SJ86	薬学研究演習 III	2	2		2		
実験		GPHA1076201EJ86	薬学研究実験 I	4	必修				
		GPHA1076202EJ86	薬学研究実験 II	4					
		GPHA1076203EJ86	薬学研究実験 III	4					
実習		GPHA1076301PJ86	臨床薬学実習 I	1	研究指導を担当する教員が専門と するものを必修とする				
		GPHA1076302PJ86	臨床薬学実習 II	1					
		GPHA1076303PJ86	薬学研究実習 I	1					
		GPHA1076304PJ86	薬学研究実習 II	1					

※開講年度欄の「集中」は集中講義、数字は毎週平均の授業時数を表す

# 京都大学大学院薬学研究科学修要項

(創発医薬科学専攻)

## 一貫制博士課程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、一貫制博士課程に5年以上在学して研究指導を受け、PQE、SQEともAスコアをとり、必修科目17単位、選択必修科目6単位、選択科目12単位、計35単位以上（別表1）を学修し、かつ博士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格しなければならない。

なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を最大2年短縮して学位を得ることができる。

2. 学生は希望する基盤科目および展開科目を受講することができる。ただし、基盤科目のうち1科目2単位以上、展開科目のうち4科目4単位以上の選択必修科目を履修しなければならない。

なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、3科目6単位以内は一貫制博士課程修了に必要な任意の選択科目の単位数のなかに含めて認定することができる。

3. 能力開発科目のうち薬学実験コーチング演習A・B各1単位、論文作成科目のうち研究倫理・研究公正0.5単位、薬学実験技術0.5単位、研究計画作文演習A・B各1単位、科学論文解読演習A・B各2単位、創発医薬科学研究A・B各4単位を必修とする。
4. 能力開発科目のうち薬学実験コーチング演習A・B、国際化スキルA・B、産学連携インターンシップA・Bの6科目、論文作成科目のうち研究計画作文演習A・B、科学論文解読演習A・B、創発医薬科学研究A・B・Cの7科目は、すべて通年科目であり、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。
5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科一貫制博士課程修得単位数表

科目	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
基盤科目		2	2	4
展開科目		4	2	6
能力開発科目	2		2	4
論文作成科目	1.5			1.5
上記科目全体から任意の科目			6	6
計	1.7	6	1.2	3.5



## 2023年度 薬学研究科一貫制博士課程科目配当表

(創発医薬科学専攻)

区分	ナンバリングコード	科目名	単位	区別	配当年次	開講年度				備考
						2023年度		(2024年度)		
						前	後	前	後	
基盤科目	GPHA2058101LJ86	創薬物理化学概論	2	選必	1年	集中		集中		
	GPHA2058102LJ86	創薬有機化学概論	2	選必	1年	集中		集中		
	GPHA2058103LJ86	創薬生物科学概論	2	選必	1年	集中		集中		
	GPHA2058104LJ86	創薬情報科学概論	2	選必	1年	集中		集中		
	GPHA2058105LJ86	創薬医療薬科学概論	2	選必	1年	集中		集中		
	GLAS028002SE48	アカデミックプレゼンテーション	2	選択	1,2年	2	2	2	2	※大学院共通科目群
	GLAS028003SE48	アカデミックディスカッション	2	選択	1,2年	2	2	2	2	
	GLAS028001SE48	大学院生のための英語プレゼンテーション	1	選択	1,2年	集中		集中		
	GLAS0180004LJ10	データ科学概観	2	選択	1,2年	集中		集中		
	GLAS1280022LJ13	情報分析・管理論	2	選択	1,2年	2		2		※大学院横断教育科目群
展開科目	GPHA2068201LJ86	創薬物理化学特論A	1	選必	1,2年			2		
	GPHA2068202LJ86	創薬物理化学特論B	1	選必	1,2年	2				
	GPHA2068203LJ86	創薬有機化学特論A	1	選必	1,2年		2			
	GPHA2068204LJ86	創薬有機化学特論B	1	選必	1,2年				2	
	GPHA2068205LJ86	創薬生物科学特論A	1	選必	1,2年		2			
	GPHA2068206LJ86	創薬生物科学特論B	1	選必	1,2年				2	
	GPHA2068207LJ86	創薬情報科学特論	1	選必	1,2年		2			
	GPHA2068208LJ86	創薬医療薬科学特論	1	選必	1,2年				2	
	GPHA2068216LJ86	臨床薬学特論	1	選必	1,2年				2	
	GPHA2068209LJ86	創発医薬科学特論A	1	選択	3年	2		2		
	GPHA2068210LJ86	創発医薬科学特論B	1	選択	3年		2		2	
	GLAS1280015LJ13	医療情報学	2	選択	1,2年		2		2	※大学院横断教育科目群
	GLAS1380001LB90	医薬品の開発と評価	1	選択	1,2年		集中		集中	
	GLAS1380002LB90	医薬政策・行政	1	選択	1,2年		集中		集中	
	GLAS1580010LE14	サステイナビリティ学最前線	2	選択	1,2年	集中		集中		
	GPHA2078211SE86	腫瘍免疫学特論	2	選択	2,3年		2		2	※メディカルイノベーション大学院プログラム科目
	GPHA2078212SE86	神経科学特論	2	選択	2,3年		2		2	
	GPHA2078213SE86	システム生物学特論	2	選択	2,3年		2		2	
	GPHA2078214SE86	再生医療・組織工学特論	2	選択	2,3年		2		2	
	GPHA2078215SE86	創薬基盤科学特論	2	選択	1年		2		2	
能力開発科目	GPHA2078301PJ86	薬学実験コーチング演習A	1	必修	1,2年			2		
	GPHA2078302PJ86	薬学実験コーチング演習B	1	必修	2,3年		2		2	
	GLAS1480005LB95	科学・学術と社会のコミュニケーション	2	選択	2,3年	2		2		※大学院横断教育科目群
	GLAS1480001LJ50	生命科学キャリアパス	1	選択	2,3年	集中		集中		
	GLAS1480007SJ47	大学で教えるということ	2	選択	2,3,4年		集中		集中	
	GPHA2078303SE86	国際化スキルA	1	選択	2,3年		集中		集中	
	GPHA2078304SE86	国際化スキルB	1	選択	3,4年		集中		集中	
	GPHA2078305SJ86	産学連携インターンシップA	1	選択	2,3年		集中		集中	
	GPHA2078306SJ86	産学連携インターンシップB	1	選択	3,4年		集中		集中	
	論文作成科目	GLAS0080001LJ20	研究倫理・研究公正	0.5	必修	1年	集中		集中	
GPHA2058401LJ86		薬学実験技術	0.5	必修	1年	集中		集中		
GPHA2078402SJ86		研究計画作文演習A	1	必修	1年		2		2	
GPHA2078403SJ86		研究計画作文演習B	1	必修	2年		2		2	
GPHA2078404SJ86		科学論文解読演習A	2	必修	1年		2		2	
GPHA2078405SJ86		科学論文解読演習B	2	必修	2年		2		2	
GPHA2078406EJ86		創発医薬科学研究A	4	必修	1年		4		4	
GPHA2078407EJ86		創発医薬科学研究B	4	必修	2年		4		4	
GPHA2078408EJ86		創発医薬科学研究C	4	選択	3,4,5年		4		4	

※開講年度欄の「集中」は集中講義、数字は毎週平均の授業時数を表す  
 ※選択必修科目は選択科目としてみなすことができる